

令和元年度

事業報告書

公益財団法人鳥取市環境事業公社

I 法人の概況

1. 設立年月日 昭和 45 年 6 月 29 日

2. 定款に定める目的

この法人は、鳥取市及びその周辺町村において、廃棄物の衛生的な処理その他環境を保全するために必要な事業を行うことにより、生活環境の清潔の保持及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 廃棄物の収集、運搬及び処分
- (2) 前号の規定により収集した廃棄物から選別した有価物の販売
- (3) 浄化槽の維持管理
- (4) 下水道管渠の清掃及び補修
- (5) 公共下水道のポンプ施設及び終末処理場の運転業務
- (6) 地域水道施設の点検
- (7) その他この法人の目的を達成するため必要と認める事業

4. 主たる事業所の状況

主たる事務所：鳥取県鳥取市秋里 1031 番地 2

5. 役員等に関する事項 (令和 2 年 3 月 31 日現在)

(1) 評議員

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別
評 議 員	高垣 武志	非常勤
評 議 員	花井 武人	非常勤
評 議 員	奥谷 仁美	非常勤
評 議 員	川口眞佐子	非常勤
評 議 員	金居恵理子	非常勤
評 議 員	間屋口 保	非常勤

(2) 理事・監事

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別
理 事 長	星見 喜昭	常勤
常務理事	井上 寿光	常勤
理 事	山下 恭史	非常勤
理 事	植村 洋巳	非常勤
理 事	廣澤 京子	非常勤
理 事	下澤 理如	非常勤
理 事	勝井 博久	非常勤
監 事	福田 正樹	非常勤
監 事	石本 健一	非常勤

6. 職員に関する事項 (令和2年3月31日現在)

職 員 数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数	
男 性	245 名	△ 6 名	46 歳 2 ヶ月	12 年 10 ヶ月
女 性	11 名	△ 2 名	39 歳 1 ヶ月	3 年 1 ヶ月
合計又は平均	256 名	△ 8 名	45 歳 12 ヶ月	12 年 5 ヶ月

II 事業の状況

1. 事業の実施状況

(1) 総括事項

本年度も、法人の目的達成のため、地域社会や行政と緊密に連携しながら、事業計画に基づき、公益性を堅持し合理的且つ効率的な運営に努めました。

また、市民サービスの向上を図るため、研修会の開催や講習会へ積極的に参加する等、職員教育を実施しました。

(2) 公益目的事業1 <生活環境の清潔の保持及び公衆衛生の向上に関する事業>

ア し尿の収集運搬

鳥取市内（鳥取地域、国府地域）の家庭及び事業所のし尿を収集車により汲み取り、し尿処理施設に運搬しました。

収集運搬実績

収集件数	収集運搬量	前年増減
6,656 件	1,602 kl	△ 221 kl

イ し尿及び集落排水汚泥の中継運搬

鳥取市及び周辺地域の一時貯留施設 7 施設から、し尿及び集落排水汚泥をし尿処理施設に運搬しました。

運搬実績

運搬量	前年増減
19,026 kl	175 kl

ウ 浄化槽の清掃及び維持管理

① 浄化槽清掃事業

市民からの依頼により、浄化槽の清掃業務を行い、汲み取った浄化槽汚泥についても適正に処理しました。また、トイレが詰まった場合にはバキューム車で詰まりを解消するなど、迅速な対応を行いました。

清掃実績

清掃件数	汚泥収集量	前年増減
2,142 件	6,568 kl	△ 1,376 kl

② 浄化槽保守点検事業

浄化槽の適正な保守点検を計画的に実施し、単独浄化槽 876 基、合併処理浄化槽 717 基の維持管理を行いました。また、浄化槽の簡易的な修理等も迅速に対応し、浄化槽

が安定した性能を発揮できるよう努めました。

保守点検実績

契約基数	保守点検延回数	前年増減
1,593 基	7,590 回	△ 259 回

③ 浄化槽の適正管理のための啓発事業

浄化槽の保守点検等を行っていない家庭や長期間清掃を行っていない家庭を訪問し、浄化槽の保守点検や清掃、法定検査の必要性について説明を行いました。

また、環境衛生週間（浄化槽の日）の新聞広告への協賛やホームページ等により、浄化槽の適正管理のための啓発を行いました。

さらに、(社)鳥取県浄化槽協会の主催する浄化槽技術講習会に積極的に参加するとともに、会場や機材の無償提供等、講習会を実施するための協力を行い、当法人のみならず、民間業者の技術向上にも寄与しました。

エ 家庭ごみ収集運搬

鳥取市内の家庭から排出される生活ごみの収集運搬を行い、併せて分別排出の徹底や適正排出の促進のための啓発活動を行いました。

収集運搬実績

区 分	収集運搬量	前年増減
可燃ごみ	20,349 t	225 t
古紙	506 t	△ 106 t
食品トレー	20 t	0 t
資源ごみ	1,014 t	△ 40 t
ペットボトル	269 t	2 t
プラスチックごみ	1,953 t	31 t
小型破碎ごみ	1,102 t	64 t
乾電池等	41 t	△ 4 t
大型ごみ	222 t	6 t

オ 家庭ごみ個別収集運搬（ふれあい収集）

鳥取市と連携し、高齢者や身体障がい者等、ごみステーションまでのごみ出しが困難な家庭に対する個別収集を行いました。

実績

収集件数	前年増減
72 件	7 件

カ 不法投棄等監視パトロール

鳥取市民の日常における生活環境を守り、自然環境を保護するため、当公社の保有・管理車両全てをパトロール車として位置付け、市内一円で不法投棄等監視パトロールを行いました。

キ 下水処理施設運転管理

施設部では施設第1課から施設第3課の職員70名が連携を図り、鳥取市より受託した下水処理施設、雨水排水施設、汚水中継施設、農業集落排水施設及び東部広域行政管理組合より受託したし尿処理施設の運転維持管理を行うとともに、国、県、市の雨水排水機場等の点検、運転業務を行っています。

下水道は市民のライフラインであることから、1年365日、休むことなく正常に下水処理機能を果たすよう数多くある施設の日常の保守管理や不具合・故障対応を行いました。

職員は積極的に各種講習・研修に参加し、維持管理に必要な資格を取得するなど技術力向上に取り組み、また、新たな試みとして大阪産業大学教授を招き施設部全職員を対象とした下水処理専門研修を実施し、専門知識の習得を行いました。

令和元年度の大雨・暴風等による出動対応は5回で、長期にわたる災害対応はありませんでしたが、10月12日から13日に発生した台風19号では暴風により多数の処理施設やマンホールポンプが2日間にわたり長時間停電し、業務第1部の協力を得ながらバキューム車7台で吸引対応等を行い、汚水溢水と浸水の防除、処理施設の機能維持に努めました。

施設部の業務は各施設の維持管理だけでなく、大雨等災害時や緊急事態時において、市民の命と財産を守る重要な役割を担っており、今後も迅速な配備と的確な対応を行っていきたいと思います。

また、下水道のイメージアップを図るため、整理・整頓・清掃・清潔を心がけ、常に施設をきれいに保ち広く市民へピーアールしていきたいと思います。

ちなみに、秋里下水終末処理場には小学校、鳥取環境大学、JICA等、24件537名の見学者があり、対応しました。

管理施設

公共下水道処理施設（秋里下水終末処理場等）	3施設
汚水施設（汚水中継ポンプ場・マンホールポンプ等）	109施設
雨水排水施設（幸町ポンプ場等）	12施設
国・県・市農林水産部・市都市整備部の雨水排水施設（狐川・西大路・西門通寺等）	25施設
農業集落排水処理施設（大和神戸農業集落排水施設等）	22施設
農業集落排水マンホールポンプ施設（横枕中継ポンプ場等）	185施設
し尿処理施設（因幡浄苑）	1施設
	合計 357施設

施設見学者状況

	令和元年度	前年増減
見学件数	24 件	△ 9 件
見学者数	537 人	△ 93 人

ク 下水道管渠清掃

① 下水道管渠清掃

鳥取市内の雨水管・下水管の位置、状況を常に把握し、下水道管渠の計画的な清掃を行うことで、下水管の閉塞や悪臭等の発生を未然に防ぎました。また、詰まり等が発生した際には速やかな対応を行いました。

下水管路汚泥収集運搬実績

収集運搬量	前年増減
5 m ³	△ 1 m ³

② 下水管渠調査

鳥取市の年次計画に基づき、自走式テレビカメラや小口径曲管検査用カラーTV装置等を用い、下水道管渠の調査、清掃を行いました。

下水管渠清掃・調査実績

施工延長	前年増減
173,328m	34,104m

ケ 地域水道施設維持管理

鳥取市の地域水道 45 施設の機器類の定期点検及び水質の検査用採水等を実施し、適切な施設の管理と安全な水の安定供給に努めました。

コ 食品リサイクルの促進

食品リサイクル法に基づき、食品関連事業者等から排出される食品廃棄物の再資源化を行うため、処理施設までの運搬を行いました。また、食品廃棄物のリサイクル促進のため、食品関連事業者への訪問説明やホームページにより啓発活動を行いました。

収集運搬実績

収集運搬量	前年増減
441 t	△ 16 t

サ 廃発泡スチロールの再資源化

事業所等から排出された廃発泡スチロール（廃プラスチック）を減容固化によりプラスチック原料（インゴット）に再資源化しました。また、中間処理施設を積極的に公開

する等、循環型社会の形成に向けた啓発を行いました。

取扱実績

取扱量	前年増減
23 t	0 t

シ 専ら物等の再資源化

収集した廃棄物のうち缶や古紙等を分別し、リサイクル施設へ運搬しました。また、分別精度の向上を図るため、市民啓発等を行いました。

取扱実績

区 分	取扱量	前年増減
金属類	204 t	△ 35 t
古紙類	975 t	△ 31 t
ペットボトル類	77 t	△ 2 t
パソコン類	0 t	0 t

(3) 収益事業1 <事業ごみ収集運搬事業>

事業活動によって生じる事業ごみのうち可燃物等の一般廃棄物を収集並びに家庭から不要となった家庭ごみを収集し、処理施設へ運搬しました。

収集運搬実績

収集運搬量	前年増減
13,653 t	△ 139 t

(4) 収益事業2 <産業廃棄物収集運搬事業>

事業活動によって生じる事業ごみのうち、産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む）を収集し、処理施設へ運搬しました。

なお、当法人は平成 25 年 8 月 2 日付で優良産廃処理業者認定制度の優良認定を受けています。

収集運搬実績

区 分	収集運搬量	前年増減
廃プラスチック類	765 t	0 t
金属くず	15 t	4 t
ガラスくず外	17 t	△ 4 t
混合物	832 t	△ 121 t
汚泥	78 t	4 t
廃油	12 t	6 t

区 分	収集運搬量	前年増減
紙くず	21 t	△ 37 t
木くず	542 t	△ 31 t
繊維くず	—	—
がれき類	0 t	△ 1 t
廃蛍光管	10 t	1 t
廃乾電池	7 t	2 t
感染性廃棄物	220 t	△ 5 t
医療産廃	4,035 袋	△ 3,741 袋
引火性廃油	2 t	2 t
廃酸	0 t	0 t
引火性廃油（有害）	0 t	0 t
強・廃アルカリ	0 t	0 t

2. 役員会等に関する事項

(1) 評議員会

年月日	回数	決議・報告事項	
R 1. 6.19	第 1 回	議案第 1 号 議案第 2 号 議案第 3 号 議案第 4 号 報告事項	平成 30 年度事業報告の承認について 平成 30 年度収支決算の承認について 役員を選任について 役員報酬規程の一部改正について 令和元年度第 1 回理事会の決議事項等について
R 2. 2.10	第 2 回	議案第 1 号 議案第 2 号 報告事項	役員報酬の変更について 役員報酬規程の一部改正について 役員任期について

(2) 理事会

年月日	回数	決議・報告事項	
R 1. 6. 4	第 1 回	議案第 1 号 議案第 2 号 議案第 3 号 議案第 4 号 議案第 5 号 議案第 6 号 議案第 7 号 議案第 8 号 報告事項 1 報告事項 2 報告事項 3	平成 30 年度事業報告の承認について 平成 30 年度収支決算の承認について 令和元年度収支補正予算の決定について 運営組織及び事業活動の状況の概要等について 評議員会へ推薦する役員候補者の選出について 定時評議員会の日時、場所及び目的である事項について 会計規程施行細則の一部改正について 事務局規程の一部改正について 職務執行報告について 軽自動車の購入について 保険加入について
R 1. 9.18	第 2 回	議案第 1 号 報告事項 1 報告事項 2	公益法人変更認定の申請及び中間処理施設の仮契約の締結について 令和元年 7 月末現在予算執行状況について 職務執行報告について
R 1.12. 2	第 3 回	議案第 1 号 議案第 2 号 議案第 3 号 議案第 4 号 議案第 5 号 議案第 6 号	新規事業の計画について 収支補正予算の決定について 特定資産取得・改良資金の計画について「自家発電設備取得積立資金」 特定資産取得・改良資金の計画について「浄化槽維持管理用車両取得積立資金 ①」 特定資産取得・改良資金の計画について「浄化槽維持管理用車両取得積立資金 ②」 特定資産取得・改良資金の計画について「浄化槽

		議案第 7 号 維持管理用車両取得積立資金 ③」 特定資産取得・改良資金の計画について「し尿中 継運搬用車両取得積立資金」 議案第 8 号 特定資産取得・改良資金の計画変更について「下 水道管管渠調査用車両更新積立資金」 議案第 9 号 任期満了に伴う役員の改選について 議案第 10 号 役員報酬の変更について 報告事項 1 令和元年度業務実績及び予算執行状況について (9 月末現在) 報告事項 2 令和元年度中間監査について 報告事項 3 職務執行報告について
R 2. 1.27	第 4 回	議案第 1 号 事務局規程の一部改正について 議案第 2 号 リスク管理規程の一部改正について 議案第 3 号 公益通報保護規程の一部改正について 議案第 4 号 役員の任期について 議案第 5 号 役員報酬の変更について 議案第 6 号 臨時評議員会の日時、場所及び目的である事項に ついて その他 3 月理事会の日程について
R 2. 3.26	第 5 回	議案第 1 号 令和元年度収支補正予算の決定について 議案第 2 号 令和 2 年度事業計画の決定について 議案第 3 号 令和 2 年度収支予算の決定について 議案第 4 号 事務局規程の一部改正について

(3) 監査

年月日	監 査 内 容
R 1. 5.29	平成 30 年度決算監査
R 1. 11.20	令和元年度中間監査